

第二回レビー小体型認知症研究会

日時：2008年11月1日（土）

場所：新横浜プリンスホテル

4F 千鳥

222-8533 横浜市港北区新横浜 3-4

TEL 045-471-1111

会長 小阪憲司（横浜ほうゆう病院）

ご 挨拶

昨年 11 月に第 1 回 DLB 研究会を開催し、多くの方々に参加いただきましたが、クローズドな研究会と思われて参加できなかった方々が少なくなかったと聞いております。今年は 11 月 1 日に同じ新横浜プリンスホテルで第 2 回研究会を開催します。今回は私の念願であった「レビー小体型認知症家族を支える会」の発足を同時開催することにしました。ご承知のように、DLB は三大認知症に数えられ、ポピュラーな病気であり、最近では一般の人にも知られるようになってきましたが、まだまだ誤診されることが多い状況です。

今回は「DLB の診断と治療」というシンポジウムを組みました。DLB は最も BPSD が起こりやすく、患者さんや家族の方々の QOL を大きく障害する認知症であり、早期に適切な診断と介入・治療を行うことが重要であります。DLB がよりよく理解され、適切な対応がなされることを期待しております。

今回も私の手作りの会で、プログラムも私の独断で組ませていただきました。一般および家族会員の方々や賛助会員の方々に満足いただける会になればありがたいと思っています。

2008 年 10 月吉日

小 阪 憲 司

プログラム

11月1日(土)

レビー小体型認知症の家族を支える会

10:00-10:10 会長挨拶

宮田真由美(横浜福祉研究所)

10:10-10:20 DLB研究会代表世話人挨拶

小阪憲司(横浜ほうゆう病院)

10:20-10:30 役員・会則など 宮田真由美

10:30-10:50 講演 座長 宮田真由美

「レビー小体型認知症をめぐって」

小阪憲司

11:00-11:50 体験報告・その他

DLB研究会世話人会

11:00-11:50 レストラン「羽衣」

新横浜プリンスホテル 40F

研究会

12:05-12:15 開会の挨拶と会計報告 小阪憲司

12:15-13:10 ランチョン・セミナー（ツムラ）

「DLBをめぐる最近の話題 抑肝散の基礎と臨床」

座長 葛原茂樹（国立精神神経センター）

1）抑肝散の基礎研究 五十嵐 康（ツムラ研究所）

2）全国規模臨床研究からの報告

木之下 徹（こだまクリニック）

13:15-15:15 シンポジウム（エーザイ・ファイザー）

「DLBの診断・治療をめぐるって」

座長 井関栄三（順大） 天野直二（信州大）

1）DLBの早期診断・治療の重要性

小阪憲司（横浜ほうゆう病院）

2）DLBの精神症状とその治療

池田 学（熊本大）

3）DLBにおけるドネペジル治療をめぐるって

朝田 隆（筑波大）

パネル・ディスカッション

15:15-15:30 コーヒーブレイク

15:30-17:00 一般演題

一般演題 A 座長 山田正仁（金沢大）

1）（老年精神医学会奨励賞）

剖検例に基づいた DLB と AD の臨床像の比較

藤城弘樹ほか（舞岡病院）

2）3D-SSP, VSRAD, MIBG を用いた DLB と AD の

鑑別について 乾 好貴ほか（藤田保健衛生大）

3）DLB における MIBG 心筋シンチと脳血流 SPECT

小林清樹ほか（札幌医大）

一般演題 B 座長 山口晴保（群馬大）

4）DLB と AD の神経心理学的鑑別

小田陽彦ほか（神戸大）

5）ヒト老化による嗅球レビー小体関連病理

齊藤裕子ほか（老人研）

6）DLB における TDP43 病変の意義について

東晋二ほか（横浜ほうゆう病院）

17:00-17:10 閉会の挨拶 岩坪 威（東大）